

hand in hand

大曲支援学校
地域支援部
平成29年12月

11月の下旬から降り始めた雪が、消えることのないまま冬休みに突入です。例年に比べ、長い冬となりそうです。

今年度も、本校高等部生徒が地域貢献活動の一環として、地域の除雪作業を行います。冬休み明けに地域の保育園、グループホーム、お寺等に出向く予定です。作業場所を提供してくださる施設の方からは、毎年、「除雪していただいて助かりました。」「みんな歩きやすいと喜んでいきます。」等といったコメントをいただきます。

地域の方々に喜んでもらい、ますますやる気が沸く生徒達です。



地域支援文庫「hand in hand books」を御活用ください

地域支援部では、普段の指導で活用しやすく、読みやすい図書を選んで購入しています。地域支援文庫「hand in hand books」として、現在130冊の書籍があります。「〇〇について知りたい。」「〇〇について参考になる資料を探している。」といった先生方がいらっしゃいましたら、お気軽に御連絡ください。大仙市及び美郷町地域の幼稚園・保育所認定こども園等、小・中学校、高等学校で幼児児童生徒の指導に当たられている方々であれば、どなたでも御利用いただけます。来校前に、地域支援担当まで電話でお知らせください。

●本の紹介●



『みんなですぐできるプログラム30
発達障害のある子の「自尊感情」を育てる授業・支援のアイデア』
小島道生 著 学研教育出版

— 「とにかくほめる」「達成経験を積ませる」だけでは足りない！—

この本を地域支援文庫から書籍を
借りられた方の感想から

とても参考になった。
参考になったので他の教師にも紹介したい。
子供の自尊感情を育てることの大切さを感じつつ、難しさを感じる。



相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立大曲支援学校

教 頭：清水 達也 阿部 純一
教 育 専 門 監：菅原 吉伸
地 域 支 援 部 主 任：栗谷川 美和子
特別支援教育アドバイザー：岩田 智子（大仙市立花館小学校内）

〒014-0072 秋田県大仙市大曲西根字下成沢 122 電話：0187-68-4123 FAX：0187-68-4122

部報「hand in hand」は、大曲支援学校 HP からダウンロードできます。

せんもんかんの部屋

No. 2

秋田県立大曲支援学校
菅原吉伸

～ すがっち ROOM ～



通級指導教員専門性向上事業の取組から

今年度、県南・県央・県北の各地区の通級指導教室、小学校1校、中学校1校を研修拠点校として指定し、拠点校による授業研修をとおして、発達障害等に係る効果的な指導方法の実践研究を行うとともに、通級指導教室と在籍学級等との連携体制の構築を図ることを目的に研修会が行われています。これまで行われた県南地区での指導助言を紹介します。

拠点校訪問研修(県南地区)指導助言より

①大仙市立花館小学校(LD等通級指導教室担当：高見広子先生)

☆他校通級の児童の自立活動の実践

- ・小学校6年、中学校進学に向けて、自己理解や生活環境の調整に関することを取り上げての学習活動

講師：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 笹森洋樹 上席総括研究員

○授業への指導助言

- ・失敗しても大丈夫という空間となっており、安心して自分の学習ができています。(通級指導教室の役割としては、安心できる場をたくさん作っていくことが大切)
- ・「今日は〇〇をがんばりました」。授業としてスキルを学んで本人は満足(終了)している。できたことをいかに般化できるようにしていくか。

例～意見を求められた際に「〇〇だと思います」で完結してしまう。その後「先生は〇〇と思うけど・・・」や「お母さんはどう思いますか？」など、いろいろな思いがあることを伝えることで、バリエーションを増やし、会話の幅を広げていく。また、教師の言うことは絶対である。そこで「お母さんはどうかな」と返してあげることで幅を広げることにもつながる。

○連携体制への指導助言

＜ツールとして＞

- ・「学級で過ごすためのヒントカードの提示」「通級での変容の具体をお便りで発信」「個別の支援計画や指導計画を学級担任と共同で作成」など。

＜担任との連携＞

- ・学級担任として「どうにかしたい」や「大変だから通級にお願いということではなく、学級で一緒に学ぶためのヒントを得たい」などの思いが必要である。そのために誰でも分かるような校内組織を確立する必要がある。

＜生徒指導＋特別支援＋教育相談の連携＞

- ・生徒指導上の問題は二次障害である。(障害そのものでは、生徒指導上の問題を起こさない)
- ・環境に働きかける、環境を工夫することが重要である。
- ・発達障害の子どもは、自分のペースでは上手にできる。周りのペースに合わせる事が苦手である。つまり、本人が合わせる事がゴールではない。本人のために環境を合わせていくことがポイントである。同時に、通級指導教室(特別の空間)はいつまでもあるわけではない。フェードアウトしていくことが必要である。

※通級指導教室の役割

- ・子どもの支援が5割、大人(保護者や学級担任等)の支援が5割である。
- ・自分に合った学び方を知る。解決策(バリエーション)を増やす場である。